

■OpenChain Japan WG license-info-sg

日時:2019/05/30(木)13:00-15:00

場所:オリンパス(笹塚オフィス)

参加者:13名

記載者:大内佳子

■ガイドライン作成について

- ・OSSコンプライアンスを遵守するために必要なライセンス情報を作成するためのガイドライン作成を目的とする。
- ・まずは、組込機器を対象にしたガイドラインとする。

■目次案

●ガイドライン情報の必要性

- ・OpenChainのエコシステムの上流から下流まで必要な情報である旨を記載する。
- ・なぜライセンス情報が必要なのかについては、リーフレットとセットで提供する前提とし、細かくは説明しない。
- ・SPDXとSPDX Liteとの関係を記載する。

●必要な項目

- ・各項目がなぜ必要なのか理由を記載し、実務で各企業が必須とどうかを判断できるようにする。
- ・Comments on Licenseの欄については、以下を記載する。
 - コンパイルオプションの情報
 - リンク情報
 - その他
- ・Declared Licenseを削除し、Concluded Licenseにデュアルライセンスや複数ライセンスの情報を含めて記載する。(All Licenses Information from Filesは利用しない)
⇒Declared Licenseを削除してFOSSOLOGYが動作するかテストした結果、動かないがめ、この項目は必要。
- ・手書きの場合は、Declared LicenseとConcluded Licenseには同じ内容を記載する。
- ・PackageDownloadLocationは、サプライヤーが入手した先(基本的にはURL)を記載する。
- ・書けない項目については、Non-assertionとし、個別問合せとする。

●ライセンス情報の収集方法

- ・まずは、記載できるところを書く
- ・ケース別の記載は不要。

●ライセンス情報の作成手順

- ・ツールとしては、FOSSOLOGYがあることを書く(詳細は他のドキュメントを紹介する)。
- ・ツールはすべてのSPDXの項目を対象にする(出力可能であり、SPDX Liteをカバーできるため)
- ・手書きはSPDX Liteとし、主に手書きの説明を記載する。

●サンプル

- ・SPDX Liteの記載サンプルを記載する。

上記を踏まえて、安倍さんの方で更新する。

■ユースケース

- 遠藤さんから紹介あり(詳細は、別途共有される資料参照)。
- ・以下、発注者側から必要な項目を紹介。

OEM

- ・要件等のパッケージ、ライセンスのサプライヤによる使用有無を確認したい。
- ・義務履行を誰が行うのかを明確にしたい(OEMでないといけないものもあるため)
- ・誰がそのOSSを導入したか知りたい(監査、トラブル対応観点)

ティア1

- ・各OEMに対してなるべく統一したフォーマットで対応したい。

- ・要検討のパッケージ、ライセンスのティア2以降による使用有無を確認したい。
- ・義務の履行に必要な情報を入手したい。(ライセンス義務だけでなく、守秘義務等も)リンクの関係等(バイナリしかもらっていないと確認できないため)

- ・上記は、必須とは限らず、ケースバイケースである。
- ・リストや○×表、チェックリストが必とする方法もある。
- ・最終的には、契約でカバーすることになる。

・ユースケースの目次案を募集する。

●スニペットについて

- ・小さく作るためには、スニペットも必要。
- ・きちんと記録を残しておくことを徹底していくのがいい。
- ・OpenChainの本家でも企業間の情報のやりとり(スニペット含む)を取り扱っていく必要がある。

■SPDXのテレコンについて

- ・6/11(9:00-11:00)に開催。
- ・ガイドラインの検討状況を紹介する。
- ・一部を英語にして紹介する>安倍さん

■次回の予定

- ・6/11(9:00-11:00)
- ・トヨタ事務所にて開催

■出席者(敬称略)13名

小泉(オリンパス)
伊藤義行(ルネサスエレクトロニクス)
遠藤(トヨタ)
當麻(Pioneer)
小保田(ソニー)
伊藤(リコー)
石原(リコー)
加藤(パナソニック)
島田(東芝)
大内(富士通、議事録)
御子柴(富士通)
浅羽(富士通コンピュータテクノロジーズ)
安倍(富士通コンピュータテクノロジーズ)

以上